

乳児期の読書環境構成に関する発達研究 —絵本場面における実物への指さしを中心として— (中間報告)

東京大学大学院教育学研究員 菅井 洋子

A developmental study about constructing of reading environment in infancy. Focusing on pointing to real object in the real world during joint picture-book reading.

Graduate School of Education, The University of Tokyo SUGAI, Yoko

要 約

乳児期の家庭での母子による絵本場面で、絵本の挿絵との類似性から周囲の実物を指さす現象が示された。そこで本研究では、この「実物への指さし」に焦点をあて、乳児の発達に応じた読書環境を解明することを目的とする。本報告では、家庭とは異なる保育所においても実物への指さしが出現するか等、実態を明らかにするために実施した保育士への質問紙調査の結果を示した。結果から、保育所でも、絵本場面で実物への指さしが発生することが示された。また、絵本の挿絵と類似する周囲の「実物」のみならず、周囲の「絵」も指さし対象となることが判明した。さらに絵本の「色」と類似の実物を指さすことが、新たに見いだされた。周囲の実物や絵が、共同活動に影響を与えることが推察され、乳児期の読書環境構成への見通しが得られた。結果をふまえ、絵本場面での対象を中心とした共同活動の展開を、絵本の「挿絵」や「色」、周囲に広く配置されている「実物」や「絵」との関連から検討していく等、今後の研究計画を述べた。

【キー・ワード】 乳児, 絵本, 実物, 指さし, 共同注意, 読書環境

Abstract

The purpose of this study is to examine reading environment in infancy. During joint picture-book reading at home, it has been observed that infants point not only to the pictures on the page but also to real objects in the real world. And it showed that the activity space was widen. The present study focuses on this phenomenon at nursery school which is analyzed in detail through questionnaire to nurse. The main findings are as follows. First, like at home, it shows that infants point to real object in the real world during joint picture-book reading at nursery school. Second, it was newly discovered that infants point not only to real object, but also

to 'picture' in the real world. As the pointing objects, pictures in the real world were newly discovered. It is suggested that there is a similarity between the picture in the picture-book and the real object and the picture in the real world. Finally, the characteristics of constructing the reading environment in infancy were discussed.

【Key words】 infant, joint picture-book reading, real object, pointing, joint attention, reading environment

問題と目的

乳児期から絵本に出会う機会が増えてきている現在、乳児の発達との関連から、乳児と養育者が、いかに絵本を一緒に読んでいるのかを解明することは、社会的な要請になってきている。また、乳幼児期の絵本場面研究においても、3歳未満の乳児期を取り上げ検討することは、緊急の課題であることが指摘されている (Fletcher & Reese, 2005)。

そこで、乳児期の家庭での母子による絵本場면을、乳児と母親と対象の三項関係から成立する「共同注意場面 (Tomasello, 2003)」と捉え、「共同注意の指さし」から解明する縦断研究に取り組んできた。1歳半、2歳半、3歳時期にわたる縦断研究の分析結果から、1歳半時期には、絵本場面へ頻繁に指さして参加し、母子が共同活動を展開しているが、その後3歳時期にかけて乳児が指さしに発話を伴うようになり、指さし機能に変化していく等、非言語形式の指さしから言語形式の読みへ移行していく発達的变化が示された (菅井・秋田・横山・野澤, 2010)。

さらに、指さす対象を分析した結果から、1歳半、2歳半時期には絵本の紙面上の挿絵や文字ばかりでなく、絵本の挿絵と類似する周囲の「実物」を指さし、現実世界にまで注意を向けあい共同活動を展開する現象がみだされた。とくに1歳半時期には、遠くの実物のところまで乳児が歩いて移動し、挿絵と実物を交互に指さし喜びを表現しながら母親と共同活動を楽しむ姿が観察され、母子の共同注意場면을構成する活動空間としての場の拡がりも推察された (菅井・秋田・横山・野澤, 2009)。絵本世界と現実世界を実際に歩いて行き来しながら、乳児が挿絵と実物を能動的に指さし、身体を使って挿絵と対応する実物を理解し、物や母親と関わることを繰り返し楽しむことは、乳児期の絵本場面の特徴であると考えられる。絵本を静かに聴く姿勢をとるばかりでなく、絵本を読む場として活動空間をひろく探索しながら、注意を向けあう対象を周囲の実物にまで広げる可能性があることを考慮に入れ、乳児期の読書環境を構成することは重要なことであると考えられる。しかし絵本場面で乳児が挿絵と類似する実物を指さすことについては、実践報告がなされたり、親が乳児と絵本を読んでいて印象的な出来事として取り上げ、喜んで語られることはあるとしても、実物を指さす現象をとりあげ、体系的に検討した研究はまだなされていない。

以上をふまえ、絵本場面で実物への指さしに焦点をあて、乳児をとりまく広い環境が絵本を読むことにどのような影響を与えるのか等、乳児期の絵本場面における共同活動の特徴を検討し、乳児の発達に応じた読書環境の構成を解明することを目的として、研究に着手している。研究Ⅰでは、絵本場面で実物への指さしの実態を調査し、研究Ⅱでは、研究Ⅰの結果をふまえ、絵本場面における実

物を中心とした共同活動の展開について観察等から探り、検討する。そして研究ⅠとⅡの結果から、乳児期特有の読書環境構成法を提案することを計画している。本報告では、研究Ⅰの結果の一部を示し、今後の研究計画を述べることにする。

研究Ⅰ

研究Ⅰでは、まず、乳児が生活する家庭とは異なる場所である保育所においても、実物への指さしが出現するのか等、保育士へ質問紙調査を実施し、実態を明らかにすることを目的とした。

方法

「保育所での絵本との出会いに関する調査」として、保育所で絵本を読む時期、頻度、きっかけや、読んでいる間の行動（指さし、指さし対象含む）、読書環境の工夫等を尋ねる質問紙を保育士へ配布し回収した。

調査対象者 保育士 52名（女性 50名、男性 2名、公立 30名、私立 22名、保育歴：平均 9年 7カ月、現在の担当クラス：3歳未満児クラス 28名、3歳以上児クラス 20名、担当クラスなし 4名）。

分析 本報告では、実物への指さしに関する項目、①実物への指さしの出現有無〔2択：ある、なし〕、実物への指さしの出現時期〔3択：複数選択可 0歳、1歳、2歳時期〕、②指さし対象となる「実物」〔自由記述〕、のみを分析し報告する。

結果

1. 「実物」への指さしの出現有無と出現時期

絵本場面で、乳児・保育士が実物を指さすことがあるかをたずねた結果、71.2%（37人）の保育士が、子どもが実物を指さすことがあると回答し、53.8%（28人）の保育士が保育士自身実物を指さすことがあると回答していた。保育所においても、絵本場面で実物を指さしていることが、保育士の回答から窺える。

次に、どの時期に出現するかを尋ねた結果を示したのが、図1である。3歳未満時期に、子どもも保育士も実物を指さしていることが示唆された（子ども：0歳 15.4%、1歳 34.6%、2歳 57.7%、保育士：0歳 25%、1歳 40.4%、2歳 40.4%）。

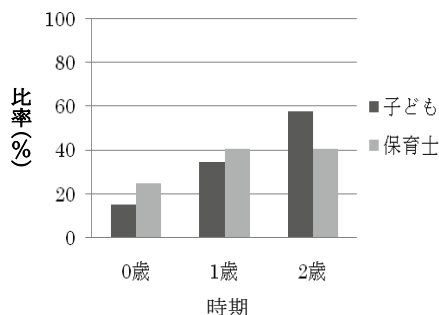


図1 各々の時期に子ども／保育士が実物を指さすことがあると回答した保育士の比率

2. 指さす対象となる「実物」等の検討

次に自由記述から、どのような「実物」が指さし対象となるのかをまとめた(表1)。

表1 絵本(挿絵, 色)と類似する対象(実物, 絵)への指さしの例

絵本	指さし対象	例
挿絵	「実物」	靴下の絵と「自分の靴下」, 時計の絵と「保育室の壁にかけてある時計」, 花や野菜の絵と「自分たちで育てている花や野菜」, 蟬の抜け殻の絵と「自分もっている蟬の抜け殻」, 雨降りの絵と「窓の外の日」, 金魚の絵と「水槽の中の金魚」, 車の絵と「車のおもちゃ」等
	「絵」	動物の絵と「壁面の動物の絵」, カエルの絵と「トイレに貼ってあるカエルの絵」等
色	「実物」	色と「色と同じ物(同じ色の服など)」

表1に示されたように、絵本の挿絵と類似する周囲の「実物」ばかりでなく、新たに、挿絵と類似する周囲の「絵」や、絵本の色と類似する「実物」が指さし対象となることがみだされた。そこで1.の結果には、「絵」への指さしも含まれていると考えられる。

考察・今後の研究計画

乳児が生活する場所である保育所においても、家庭と同様に、絵本場面で挿絵と類似する「実物」が指さし対象となることが示された。また、注意を向けあう対象を、現実世界の実物および「絵」にまで広げることが新たにみだされた。周囲に広く配置されている実物や絵が、共同活動に影響を与えることが推察される。さらに、絵本の挿絵のみならず、「色」と類似する実物を指さすことが、調査の結果から新たに示唆された。どのような絵本の挿絵や色との類似性により実物を指さすのか、絵本の内容との関連の検討が必要である。

また保育所では、保育士と、同年齢、異年齢の乳児たちが絵本を一緒に読むことがある。そのため、家庭とは異なる実物を中心とした共同活動が展開することや、異なる動機により実物を指さすことが考えられる。そこで、実際にどのような共同活動を展開しているのかに関して、インタビューや観察

により検討していくことが必要となるであろう。

以上をふまえ、最近の乳児の指さし研究（Tomasello,2008;2009）や、「挿絵と実物の類似性論（DeLoache,& Ganea,2009;Ganea,Pickard,&DeLoache,2008）」等をもとに、絵本の「挿絵」や「色」、周囲に配置された「実物」や「絵」と、共同活動の展開との関連を検討する研究Ⅱを進め、乳児期特有の読書環境の構成について解明していくことが、今後の予定である。

引用文献

- DeLoache,J.S.,&Ganea,P.A.(2009).Symbol-based learning in infancy. In Woodward, A., &Needham,A.(eds.). *Learning and the infant mind*. (pp263-285).NY: Oxford university press.
- Fletcher,K.L.,&Reese,E.(2005).Picture book reading with young children: A conceptual framework. *Developmental review*, 25,64-103.
- Ganea,P.A.,Pickard,M.B.,& DeLoache,J.S.(2008). Transfer between picture books and the real world. *Journal of Cognition and Development*,9(1)46-66.
- 菅井洋子・秋田喜代美・横山真貴子・野澤祥子（2010）乳児期の絵本場面における母子の共同注意の指さしをめぐる発達的变化：積木場面との比較による縦断研究，*発達心理学研究*，21，46-57.
- 菅井洋子・秋田喜代美・横山真貴子・野澤祥子（2009）乳児期の絵本場面における母子の実物への指さしをめぐる研究，*読書科学*，52(3),148-160.
- Tomasello,M.(2009).Why we cooperation. MIT Press.
- Tomasello,M.(2008).*Origins of human communication*. US: MIT Press.
- Tomasello,M.(2003).*Constructing a language*.Cambridge:Harvard university press. 辻幸夫・野村益寛・出原健一・菅井三実・鍋島弘治朗・森吉直子（訳）（2008）*ことばをつくる：言語習得の認知言語学的アプローチ*. 東京：慶応義塾大学出版会

謝辞・付記

調査に御協力下さいました保育士の方々へ、心より感謝の意を表します。ご指導賜りました東京大学大学院 秋田喜代美教授、日本女子大学大学院 岩崎洋子教授に深く御礼申し上げます。

